※令和３年度以前入学生用

学校番号	１２０５

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　改訂版　日本史Ａ　～人・くらし・未来～　（第一学習社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業は基本、講義形式で行う。
・使用教材は教科書と配布プリント、適宜動画や音声教材、パワーポイントを用いる。
・授業では、ただ聴くだけの受身にならず、歴史人物や事件に興味を持ち、積極的に歴史の「なぜ」を考えてほしい。「なぜ近代国家になれたのか」「なぜ戦争をしたのか」。最初は教員の投げかける「なぜ」について考え、次第に自ら歴史の「なぜ」を発見し、考察できるようになってほしい。
・日本の近・現代の歴史が現在の社会の基礎となり、また密接に関連していることを理解し、これからの社会を担う者として、主体的に諸課題に取り組むことができるようになることが最終的な目標である。

２　学習の到達目標

日本の近・現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる人間としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史の流れや人物に興味を持ち、その因果関係や成り立ちを主体的に考えようとする。 集中して話を聞き、発問に対して積極的に考える力を養う。	歴史事実や特徴、因果関係を考察し、自らまとめ、表現することができる。 他者の考え・意見を尊重するとともに、自らの考えを表現し他者に伝えることができる。	図版や年表等の様々な資料を活用して、それぞれの時代の政治・経済・社会・文化等の特徴について理解を深めることができる。	日本近現代史の基本的な知識を身につけ、現在の社会との関連性を見出し、主体的に考えることができる。
評価方法	授業態度 授業中の発言 プリント 課題	授業態度 授業中の発言 プリント	授業中の発言 プリント 課題 定期考査	プリント 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	国際環境の変化と幕藩体制の動揺	・国際環境の変化と外国船	○	○	○	○	a:変革を迫られる日本の状況や世界との関わりに興味を持つ b:政治改革の意図・結果を考察する c:社会変化を学び世界の中の日本の立ち位置を把握する d:政治改革の内容や事件の概要、歴史人物に関する知識を身につける	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
		・庶民の台頭と経済構造の変化			○	○		
		・近代思想のいぶき	○		○			
	明治維新と近代国家の形成	・アジアの激動と日本の開国	○	○	○	○	a:開国・近代化を迫られる日本の状況や世界との関わりに興味を持つ b:開国・近代化の意義や目的を考察する c:社会の変化を学び、世界の中の日本の立ち位置を把握する d:政治改革の内容や事件の概要、歴史人物に関する知識を身につける	
		・江戸幕府の滅亡			○	○		
		・明治維新	○	○	○	○		
		・富国強兵と士族農民の不満		○	○	○		
		・自由民権運動	○	○	○	○		
		・国会開設		○	○	○		
	国際関係の推移と近代産業の成立	・条約改正	○	○	○	○	a:近代化を進める日本の状況や世界との関わりに興味を持つ b:近代化と戦争の因果関係や意義、目的を考察する c:社会の変化を学び、世界の中の日本の立ち位置を把握する d:政治の内容や事件の概要、戦争の因果関係、歴史人物に関する知識を身につける	
		・日清戦争	○			○		
		・日露戦争				○		
		・産業革命と社会の変容	○	○	○	○		
		・国家主義の台頭				○		
		・明治の文化	○		○			
	政党政治の展開	・民衆の台頭		○	○	○		
		・世界大戦とワシントン体制	○	○	○	○		
		・経済・社会の変容			○	○		
		・市民文化			○	○		

※令和３年度以前入学生用

後期	第二次世界大戦と日本	・恐慌の時代	○	○	○	○	a:太平洋戦争へ至る経緯や日本と世界との関係に興味を持つ b:戦争の因果関係や経緯と目的を考察する c:社会の変化を学び、世界の中の日本の立ち位置を把握する d:政治の内容や事件の概要、戦争の因果関係、歴史人物に関する知識を身につける	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
		・政党内閣期の内政と外交	○		○	○		
		・軍部の台頭	○	○		○		
		・日中戦争	○	○	○	○		
		・重化学工業化と統制経済			○	○		
		・第二次世界大戦と太平洋戦争	○	○		○		
	戦後政治と社会	・占領と改革	○	○	○	○	a:戦後の日本の状況や世界との関係に興味を持つ b:改革の意図や国際社会における日本の役割の変化を考察する c:社会の変化を学び、世界の中の日本の立ち位置を把握する d:政治の内容や事件の概要、歴史人物に関する知識を身につける	
		・民主化と復興	○	○	○	○		
	経済成長	・55 年体制	○			○		
		・高度経済成長期の経済と社会	○			○		
	現代世界と日本	・冷戦の終結と日本		○	○	○		
		・日本社会の変容	○	○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:　資料活用の技能　　d:知識・理解